

「1.17KOBE に灯りを in ながた」

1月17日に神戸市長田区の鉄人広場で行われた「1.17KOBE に灯りを in ながた」のボランティア活動に参加しました。

準備にはたくさんの実行委員会やボランティアの方が集まり、各班に分かれて作業を行いました。私はペットボトル班で灯りを灯す土台の作成を行い、イベント中は、ろうそくの点灯と17:46の黙とうのアナウンスや使用したろうそくの配布など、今後体験することができないような貴重な体験をさせていただきました。

今回のイベントでは東日本大地震、阪神・淡路大震災の黙とう、和太鼓の演奏や中学生による合唱が行われました。

印象に残ったことは、準備中、鉄人広場の前を通る方の中には足を止めて黙とうをする方や準備の風景を眺める方、お手伝いをしてくれる方、目頭が熱くなる方がいて、たくさんの方が思いを馳せていたことでした。今年は規模の縮小や制限、新型コロナウイルス感染症の影響で地域の方と一緒にろうそくを点灯することはできませんでした。ろうそくの配布時、一緒に点灯することができないことを説明すると地域の方々はとても残念そうでした。「来年こそは一緒に灯せたらいいですね。」とっていました。

今回のボランティア活動を通して、阪神淡路大震災から27年が経ち、震災による被害を知らない若者が多くなっていく中でも震災による被害を忘れず、「1.17KOBE に灯りを in ながた」のような追悼式が行われ、そこで思いを馳せる方、楽しみにしている方がいて、とても素敵なイベントだと感じました。このような素敵な機会に学生ボランティアとして参加することができて本当に良かったと思いました。

口腔保健学科1年 服部和奏

